

# 平成30年度 事業報告書

(平成30年4月1日から 平成31年3月31日まで)

# I. 法人の概要 (平成30年度)

## 1 学校法人の沿革(設立)

昭和24年2月 新学制により大阪理科大学、大阪専門学校を合併し、近畿大学設立。

昭和26年2月 財団法人近畿大学を学校法人近畿大学に名称変更。

法人の名称 学校法人 近畿大学

事務所の所在地 大阪府東大阪市小若江3丁目4番1号

近畿大学は、「実学教育と人格の陶冶」を建学の精神とし、「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人の育成」を教育の目的としている。そして同時に、受身だけでなく、「人を愛する人、人を信頼し、尊敬する人」という心豊かな人間性を育てることを目標としている。

この精神・目的・目標を実践するために、大学・学部・研究科を中心として、その個性を生かし、また機能的に連携・融合し取り組んでおり、その方法は様々であるが、その基本精神は過去・現在・未来において常に変わらないものである。

## 2 設置・改組等

### 平成30年度 施行

該当なし

### 平成31年度 施行 (予定)

近畿大学農学部バイオサイエンス学科を生物機能科学科に名称変更

近畿大学法科大学院を学生募集停止

## 3 設置する学校、学部、学科等(平成30年4月)

| 学校名              | 学部、学科等     |
|------------------|------------|
| 近畿大学法科大学院        | 1研究科、1専攻   |
| 近畿大学大学院          | 11研究科、26専攻 |
| 近畿大学             | 14学部、48学科  |
| 近畿大学通信教育部        | 1学部、1学科    |
| 近畿大学短期大学部        | 1学科        |
| 近畿大学短期大学部通信教育部   | 1学科        |
| 近畿大学九州短期大学       | 2学科        |
| 近畿大学九州短期大学通信教育部  | 2学科、専攻科    |
| 近畿大学工業高等専門学校     | 1学科、専攻科    |
| 近畿大学附属高等学校       | 全日制課程      |
| 近畿大学附属新宮高等学校     | 全日制課程      |
| 近畿大学附属豊岡高等学校     | 全日制課程      |
| 近畿大学附属福岡高等学校     | 全日制課程、専攻科  |
| 近畿大学附属広島高等学校福山校  | 全日制課程      |
| 近畿大学附属和歌山高等学校    | 全日制課程      |
| 近畿大学附属広島高等学校東広島校 | 全日制課程      |
| 近畿大学附属中学校        |            |
| 近畿大学附属和歌山中学校     |            |
| 近畿大学附属新宮中学校      |            |
| 近畿大学附属広島中学校福山校   |            |
| 近畿大学附属豊岡中学校      |            |
| 近畿大学附属広島中学校東広島校  |            |
| 近畿大学附属小学校        |            |
| 近畿大学附属幼稚園        |            |
| 近畿大学九州短期大学附属幼稚園  |            |
| 近畿大学附属看護専門学校     | 2学科        |

#### 4 各学校等の収容定員、現員数(平成30年5月1日現在)

| 学校名              | 収容定員   | 現員     |
|------------------|--------|--------|
| 近畿大学大学院          | 1,191  | 1,004  |
| 近畿大学法科大学院        | 80     | 19     |
| 近畿大学             | 30,260 | 33,614 |
| 近畿大学通信教育部        | 8,000  | 1,265  |
| 近畿大学短期大学部        | 160    | 197    |
| 近畿大学短期大学部通信教育部   | 4,000  | 1,703  |
| 近畿大学九州短期大学       | 240    | 201    |
| 近畿大学九州短期大学通信教育部  | 2,400  | 3,570  |
| 近畿大学工業高等専門学校     | 836    | 860    |
| 近畿大学附属高等学校       | 2,880  | 2,764  |
| 近畿大学附属新宮高等学校     | 480    | 402    |
| 近畿大学附属豊岡高等学校     | 720    | 491    |
| 近畿大学附属福岡高等学校     | 1,100  | 1,066  |
| 近畿大学附属広島高等学校福山校  | 720    | 593    |
| 近畿大学附属和歌山高等学校    | 1,050  | 1,100  |
| 近畿大学附属広島高等学校東広島校 | 660    | 609    |
| 近畿大学附属中学校        | 840    | 855    |
| 近畿大学附属和歌山中学校     | 525    | 553    |
| 近畿大学附属新宮中学校      | 210    | 153    |
| 近畿大学附属広島中学校福山校   | 480    | 440    |
| 近畿大学附属豊岡中学校      | 240    | 177    |
| 近畿大学附属広島中学校東広島校  | 420    | 413    |
| 近畿大学附属小学校        | 720    | 698    |
| 近畿大学附属幼稚園        | 180    | 123    |
| 近畿大学九州短期大学附属幼稚園  | 220    | 205    |
| 近畿大学附属看護専門学校     | 295    | 301    |
| 法人合計             | 58,907 | 53,376 |

※近畿大学の留学生別科及び近畿大学九州短期大学の別科は除く

#### 5 役員に関する事項(役員の氏名)(平成30年5月1日現在)

|         |        |
|---------|--------|
| 理事長(常勤) | 清水 由洋  |
| 理事(常勤)  | 細井 美彦  |
| 理事(常勤)  | 杉浦 浩三  |
| 理事(常勤)  | 田中 栄二  |
| 理事(非常勤) | 中島 茂   |
| 理事(常勤)  | 工藤 正俊  |
| 理事(非常勤) | 熊井 英水  |
| 理事(非常勤) | 武知 京三  |
| 理事(非常勤) | 塩崎 均   |
| 理事(非常勤) | 井倉 博   |
| 理事(非常勤) | 北爪 佐知子 |
| 監事(非常勤) | 米田 隆一  |
| 監事(非常勤) | 増田 大三  |

#### 6 評議員に関する事項(平成30年5月1日現在)

##### 評議員数

| 寄附行為の選任条項              | 定数     | 現員  | うち理事兼務 |
|------------------------|--------|-----|--------|
| 寄附行為 第17条第1項第1号(併設学校長) |        | 12名 | 1名     |
| 寄附行為 第17条第1項第2号(教職員)   | 12~17名 | 12名 | 2名     |
| 寄附行為 第17条第1項第3号(卒業生)   | 3~5名   | 3名  | 1名     |
| 寄附行為 第17条第1項第4号(学識経験者) | 5~7名   | 5名  | 2名     |
| 寄附行為 第17条第1項第5号(理事長)   | 1名     | 1名  | 1名     |
| 合 計                    | 33~42名 | 33名 | 7名     |

#### 7 教職員に関する事項(平成30年5月1日現在)

##### 教職員数

(単位:人)

|      |        |
|------|--------|
| 本務教員 | 2,299  |
| 本務職員 | 2,951  |
| 計    | 5,250  |
| 兼務教員 | 3,828  |
| 兼務職員 | 1,617  |
| 計    | 5,445  |
| 合計   | 10,695 |

## II.事業の概要(平成30年度)

### 1 当年度に行なった主な事業

(単位百万円)

| 事業名          | 区分  | 総事業費   | 前年度以前  | 当年度   | 次年度以降 | 備考        |
|--------------|-----|--------|--------|-------|-------|-----------|
| 1 大学本部       | 事業費 | 50,169 | 41,732 | 4,739 | 3,698 | 国庫補助金 446 |
| 東大阪キャンパス整備計画 | 支払額 | 50,169 | 41,695 | 4,739 | 3,735 |           |



< 大学本部 東大阪キャンパス整備計画 第二期工事 >  
( 6号館・7号館 令和元年5月 撮影 )

| 事業名                | 区分  | 総事業費  | 前年度以前 | 当年度   | 次年度以降 | 備考            |
|--------------------|-----|-------|-------|-------|-------|---------------|
| 2 広島高等学校・中学校 (福山校) | 事業費 | 1,217 | 263   | 954   |       | 国庫補助金145 (未収) |
| 体育館建替工事            | 支払額 | 1,217 | 31    | 1,186 |       | 都道府県補助金12     |
| 3 大学本部             | 事業費 | 175   |       | 175   |       |               |
| ゲストハウス改修工事         | 支払額 | 175   |       | 175   |       |               |



< 建物概要 >  
■延床面積: 1,912.93㎡  
■構造: 鉄骨造

< 広島高等学校・中学校 (福山校) 体育館建替 >  
(平成31年3月竣工)



< 建物概要 >  
■延床面積: 794.27㎡

< 大学本部 ゲストハウス改修 >  
(平成30年11月竣工)

東大阪キャンパスでは現在、大規模整備「超近大プロジェクト」を実施しております。平成30年度事業としましては、第二期工事として18号館南棟 (令和元年5月竣工)、6号館・7号館 (令和元年8月竣工予定) の新築工事を行っております。また、広島高等学校・中学校 (福山校) では昭和39年に旧耐震基準で建設された体育館を取り壊し、新たな体育館建設 (平成31年3月竣工) を行いました。他に、経年劣化が顕著であったゲストハウスを改修。国際交流事業での留学生による利用も計画しており、ゲストが快適に利用できるような宿泊環境の整備を行いました。



## 2 その他の事業

(単位百万円)

| 事業名                  | 区分  | 総事業費   | 前年度以前 | 当年度 | 次年度以降  | 備考 |
|----------------------|-----|--------|-------|-----|--------|----|
| 4 農学部                | 事業費 | 864    | 488   | 174 | 202    |    |
| 研究棟空調設備 ( GHP ) 改修工事 | 支払額 | 864    | 488   | 174 | 202    |    |
| 5 大学本部               | 事業費 | 1,075  | 7     | 160 | 908    |    |
| 各号館給排水設備整備計画         | 支払額 | 1,075  | 7     | 0   | 1,068  |    |
| 6 大学本部               | 事業費 | 2,037  | 429   | 128 | 1,480  |    |
| 各号館空調設備整備計画          | 支払額 | 2,037  | 278   | 151 | 1,608  |    |
| 7 大学本部               | 事業費 | 610    | 108   | 128 | 374    |    |
| 各号館トイレ整備工事           | 支払額 | 610    | 108   | 128 | 374    |    |
| 8 大学本部               | 事業費 | 680    | 434   | 126 | 120    |    |
| 21号館改修工事             | 支払額 | 680    | 434   | 0   | 246    |    |
| 9 附属高等学校             | 事業費 | 394    | 157   | 123 | 114    |    |
| トイレ改修工事              | 支払額 | 394    | 157   | 123 | 114    |    |
| 10 工学部               | 事業費 | 434    | 289   | 111 | 34     |    |
| 工学部キャンパストイレ改修工事      | 支払額 | 434    | 289   | 54  | 91     |    |
| 11 医学部附属病院           | 事業費 | 70,000 |       | 108 | 69,892 |    |
| 医学部および附属病院建替整備計画     | 支払額 | 70,000 |       | 108 | 69,892 |    |
| 12 和歌山高等学校・中学校       | 事業費 | 83     |       | 83  |        |    |
| 食堂改修工事               | 支払額 | 83     |       | 83  |        |    |

平成30年度のその他の事業として、農学部では研究棟・教室棟の空調設備更改を行いました。その他、和歌山高等学校・中学校では食堂の厨房機器をはじめ、机・椅子など大規模なリニューアルを行い、レイアウトの変更により約300の席数を確保することが可能となりました。また、東大阪キャンパスでは、近畿大学において最大定員数を誇る経営学部が利用する21号館の順次改修や女子学生比率増加に伴いパウダールームを備えたトイレへの改修、並びに節電も考慮したLED電球への更新など、快適な学習環境維持に取り組んでおります。

< 大学本部 各号館トイレ整備 >



< 和歌山高等学校・中学校 食堂改修 >



## 3 今後の事業計画について

平成25年度から開始された総事業費502億円の東大阪キャンパス整備計画事業は令和元年度で完了となる一方、医学部・病院の大阪狭山市から堺市泉ヶ丘への移転建替事業については、令和元年度に第一期土地収用を行い、令和2年度から工事着工、令和5年度の開業という流れでの事業を計画し、総事業費は約700億円を想定しております。また、その他として農学部における多目的ホールの新築、工学部の食堂リニューアル計画、湯浅農場では本館・セミナーハウスの建替計画などを進めてまいります。

### III. 財務の状況

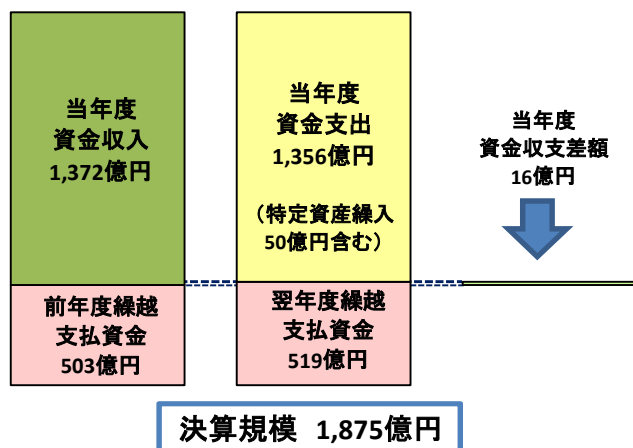
#### 1 資金収支の状況

資金収支計算書とは・・・（学校法人会計基準第6条）

1. 当該年度に行った諸活動に対応するすべての収入と支出の内容
2. 当該年度にかかる支払資金（現金及びいつでも引き出すことのできる預貯金）の収入と支出のてん末

上記2つを明らかにするものであります。

何に使ったか  
（資金の使途状況）  
資金がどれだけ残ったか  
（資金の残高状況）  
を表します



（今年度決算の特徴）

1. 東大阪キャンパス整備計画事業の実施  
平成30年度事業費 47億円（総事業費502億円）
2. 引当特定資産への繰入  
第2号基本金引当資産 50億円 累積額 300億円
3. 医学部堺病院の経営委譲（売却）  
平成30年4月1日をもって医学部堺病院の経営委譲を行いました。それに伴う影響としまして、土地売却による資産売却収入の増加、医療収入・医療経費支出の減少などが挙げられます。

| 資金収入の部         | (単位億円) |        |      |
|----------------|--------|--------|------|
| 科 目            | 平成30年度 | 平成29年度 | 差 額  |
| 学生生徒等納付金収入     | 566    | 557    | 9    |
| 手数料収入          | 40     | 40     | 0    |
| 寄付金収入          | 8      | 7      | 1    |
| 補助金収入          | 98     | 94     | 4    |
| 資産売却収入※1       | 11     | 0      | 11   |
| 付随事業・収益事業収入    | 25     | 25     | 0    |
| 医療収入※1         | 574    | 621    | △ 47 |
| 受取利息・配当金収入     | 0      | 0      | 0    |
| 雑収入            | 23     | 29     | △ 6  |
| 小 計 (①)        | 1,345  | 1,373  | △ 28 |
| 借入金等収入         |        | 0      | 0    |
| 特定資産からの取崩収入    |        | 0      | 0    |
| 前受金収入 ※1       | 105    | 121    | △ 16 |
| その他の収入(特定資産除く) | 156    | 156    | 0    |
| 資金収入調整勘定       | △ 234  | △ 233  | △ 1  |
| 資金収入合計 (A)     | 1,372  | 1,417  | △ 45 |

《資金収入の主な増減》

※1 医学部堺病院の経営委譲に伴い、土地売却収入を10億円計上した一方、医療収入54億円（前年度実績比較）が減少しております。前受金についても土地売却額を前年度に受け入れたことにより当年度は減少しております。

| 資金支出の部         | (単位億円) |        |      |
|----------------|--------|--------|------|
| 科 目            | 平成30年度 | 平成29年度 | 差 額  |
| 人件費支出※1        | 577    | 596    | △ 19 |
| 教育研究経費支出       | 516    | 549    | △ 33 |
| 教育研究経費支出       | 180    | 188    | △ 8  |
| 医療経費支出※1       | 336    | 361    | △ 25 |
| 管理経費支出         | 59     | 59     | 0    |
| 借入金等利息支出       | 0      | 0      | 0    |
| 借入金等返済支出       | 2      | 2      | 0    |
| 施設関係支出 ※2      | 74     | 29     | 45   |
| 設備関係支出         | 37     | 33     | 4    |
| 小 計 (②)        | 1,265  | 1,268  | △ 3  |
| 特定資産への繰入支出     | 50     | 50     | 0    |
| 資産運用支出(特定資産除く) | 5      | 4      | 1    |
| その他の支出         | 173    | 185    | △ 12 |
| 資金支出調整勘定       | △ 137  | △ 141  | 4    |
| 資金支出合計 (B)     | 1,356  | 1,366  | △ 10 |

《資金支出の主な増減》

※1 医学部堺病院の経営委譲に伴い、人件費支出22億円（前年度実績比較）や医療経費支出38億円（前年度実績比較）が減少しております。

※2 平成25年度より継続している東大阪キャンパス整備計画事業費が、前年度13億円に対し、当年度は47億円を計上しております。

| 資金収支差額の部       | (単位億円) |        |      |
|----------------|--------|--------|------|
| 科 目            | 平成30年度 | 平成29年度 | 差 額  |
| 資金収支差額 (①-②)   | 80     | 105    | △ 25 |
| 資金収支差額 (A - B) | 16     | 51     | △ 35 |
| 翌年度繰越支払資金      | 520    | 504    | 16   |

当年度帰属的資金収入で当年度資金支出を賄っているかをみます。

当年度の入金額で出金額が賄っているかをみます。

前年度と比較し16億円増えていますが、特定預金への繰入が50億円ありますので、実質66億円の資金が増えたことになります。

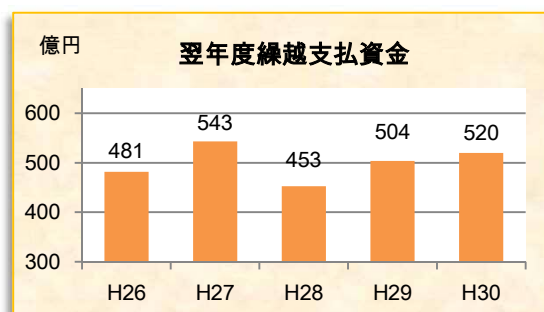
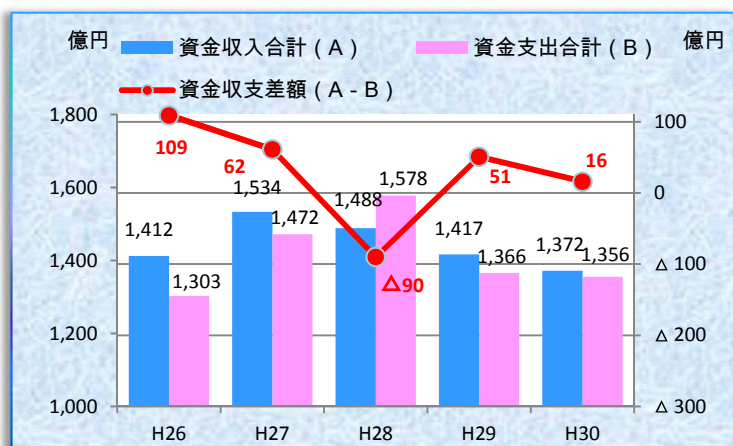
## 2 資金収支の経年比較

| 資金収入の部              | ( 単位百万円 ) |          |          |          |          |
|---------------------|-----------|----------|----------|----------|----------|
| 科 目                 | 平成26年度    | 平成27年度   | 平成28年度   | 平成29年度   | 平成30年度   |
| 学生生徒等納付金収入          | 52,379    | 53,322   | 54,241   | 55,662   | 56,634   |
| 手数料収入               | 3,438     | 3,484    | 3,850    | 3,978    | 3,999    |
| 寄付金収入               | 775       | 808      | 770      | 706      | 780      |
| 補助金収入               | 9,667     | 10,375   | 9,618    | 9,434    | 9,801    |
| 資産売却収入              | 2,516     | 17       | 371      | 3        | 1,105    |
| 付随事業・収益事業収入※        | 2,183     | 2,485    | 2,517    | 2,505    | 2,487    |
| 医療収入                | 59,867    | 64,062   | 61,839   | 62,101   | 57,429   |
| 受取利息・配当金収入※         | 1,534     | 108      | 364      | 32       | 24       |
| 雑収入※                | 2,462     | 2,497    | 2,219    | 2,912    | 2,321    |
| 小 計 ( ① )           | 134,821   | 137,158  | 135,789  | 137,333  | 134,580  |
| 借入金等収入              | 0         | 0        | 0        | 0        | 0        |
| 特定資産からの取崩収入         | 2,000     | 15,000   | 7,500    | 0        | 0        |
| 前受金収入               | 9,941     | 10,319   | 11,154   | 12,065   | 10,458   |
| その他の収入 ( 特定資産取崩除く ) | 15,751    | 14,895   | 17,214   | 15,565   | 15,570   |
| 資金収入調整勘定            | △ 21,295  | △ 23,992 | △ 22,793 | △ 23,300 | △ 23,435 |
| 資金収入合計 ( A )        | 141,218   | 153,380  | 148,864  | 141,663  | 137,173  |

※ 学校法人会計基準の改正に伴い一部の科目が変更となり、平成26年度分は組み替えて記載しています。

| 資金支出の部              |          | ( 単位百万円 ) |          |          |          |  |
|---------------------|----------|-----------|----------|----------|----------|--|
| 科 目                 | 平成26年度   | 平成27年度    | 平成28年度   | 平成29年度   | 平成30年度   |  |
| 人件費支出               | 57,513   | 58,554    | 58,433   | 59,649   | 57,750   |  |
| 教育研究経費支出            | 17,128   | 17,416    | 17,824   | 18,786   | 17,983   |  |
| 医療経費支出              | 34,228   | 37,461    | 35,753   | 36,090   | 33,566   |  |
| 管理経費支出              | 5,575    | 5,948     | 5,857    | 5,854    | 5,923    |  |
| 借入金等利息支出            | 22       | 18        | 15       | 12       | 8        |  |
| 借入金等返済支出            | 225      | 225       | 225      | 225      | 225      |  |
| 施設関係支出              | 4,067    | 15,811    | 24,753   | 2,915    | 7,388    |  |
| 設備関係支出              | 4,506    | 5,177     | 5,966    | 3,314    | 3,656    |  |
| 小 計 ( ② )           | 123,264  | 140,610   | 148,826  | 126,845  | 126,499  |  |
| 特定資産への繰入支出          | 5,126    | 5,100     | 5,112    | 5,393    | 5,500    |  |
| 資産運用支出 ( 特定資産繰入除く ) | 0        | 0         | 0        | 0        | 0        |  |
| その他の支出              | 16,408   | 17,657    | 19,389   | 18,476   | 17,305   |  |
| 資金支出調整勘定            | △ 14,484 | △ 16,119  | △ 15,477 | △ 14,148 | △ 13,726 |  |
| 資金支出合計 ( B )        | 130,314  | 147,248   | 157,850  | 136,566  | 135,578  |  |

| 資金収支差額の部         | ( 単位百万円 ) |         |          |        |        |
|------------------|-----------|---------|----------|--------|--------|
| 科 目              | 平成26年度    | 平成27年度  | 平成28年度   | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 資金収支差額 ( ①-② )   | 11,557    | △ 3,452 | △ 13,037 | 10,488 | 8,081  |
| 資金収支差額 ( A - B ) | 10,904    | 6,132   | △ 8,986  | 5,097  | 1,595  |
| 翌年度繰越支払資金        | 48,129    | 54,261  | 45,275   | 50,372 | 51,966 |



東大阪キャンパス整備計画事業の第二期工事を進めながらも安定した推移を保っております。

### 3 事業活動収支の状況

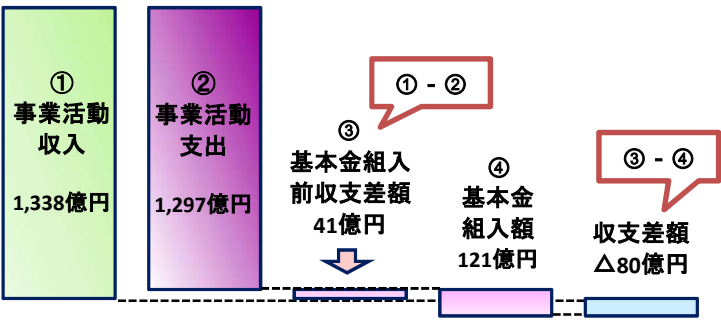
事業活動収支計算書とは・・・

1. 当該会計年度の事業活動収入及び事業活動支出の内容
2. 学校法人の財政の均衡状態(バランス)

上記2つを明らかにするものです。

(注)区分ごとの経年比較の状況は、P.14に記載

永続的な学校法人の運営のためには、事業活動収支のバランスが重要な条件となります

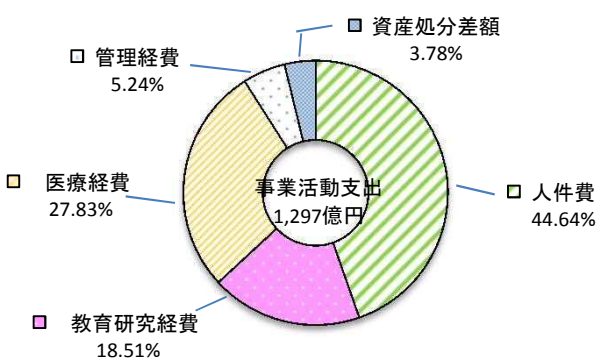
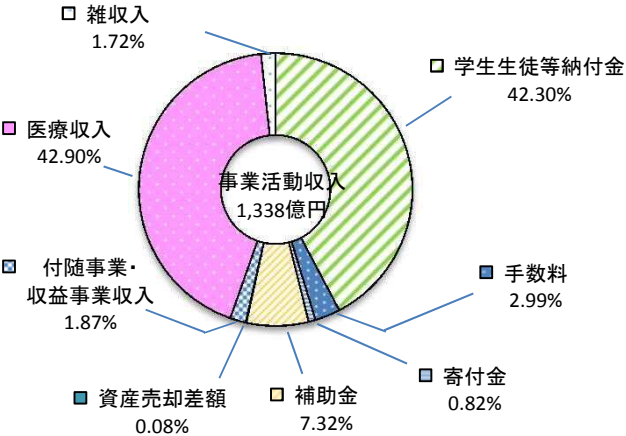


(今年度決算の特徴)

1. 基本金組入前収支差額の減少  
医学部堺病院の経営委譲に伴い、多額の資産処分差額及び売却差額が発生したため、収支差額が減少しております。
2. 第1号基本金組入額の増加  
東大阪キャンパス整備計画事業第二期工事及び広島高等学校・中学校(福山校)での体育館建替工事に伴い、第1号基本金組入額が増加しております。
3. 第2号基本金への組入  
第2号基本金 50億円(医学部・附属病院移転建替事業資金)

| 事業活動収入内訳     |        | (単位億円) |             |  |
|--------------|--------|--------|-------------|--|
| 科 目          | 平成30年度 | 平成29年度 | 差 額         |  |
| 学生生徒等納付金     | 566    | 557    | 9           |  |
| 手数料          | 40     | 40     | 0           |  |
| 寄付金          | 11     | 9      | 2           |  |
| うち現物寄付金      | (3)    | (2)    | (1)         |  |
| 補助金          | 98     | 94     | 4           |  |
| 資産売却差額       | 1      | 0      | 1           |  |
| 付随事業・収益事業収入  | 25     | 25     | 0           |  |
| 医療収入         | 574    | 621    | $\Delta 47$ |  |
| 受取利息・配当金収入   | 0      | 0      | 0           |  |
| 雑収入(過年度修正含む) | 23     | 30     | $\Delta 7$  |  |
| 事業活動収入 合計    | 1,338  | 1,376  | $\Delta 38$ |  |

| 事業活動支出内訳           |        | (単位億円) |              |  |
|--------------------|--------|--------|--------------|--|
| 科 目                | 平成30年度 | 平成29年度 | 差 額          |  |
| 人件費                | 579    | 595    | $\Delta 16$  |  |
| うち退職給与引当金繰入額       | (22)   | (27)   | $(\Delta 5)$ |  |
| 教育研究経費             | 601    | 634    | $\Delta 33$  |  |
| 教育研究経費             | 240    | 247    | $\Delta 7$   |  |
| うち減価償却額            | (60)   | (59)   | (1)          |  |
| 医療経費               | 361    | 387    | $\Delta 26$  |  |
| うち減価償却額            | (23)   | (26)   | $(\Delta 3)$ |  |
| 管理経費(為替差損、過年度修正含む) | 68     | 69     | $\Delta 1$   |  |
| うち減価償却額            | (9)    | (10)   | $(\Delta 1)$ |  |
| 借入金等利息             | 0      | 0      | 0            |  |
| 資産処分差額             | 49     | 15     | 34           |  |
| 徴収不能額              | 0      | 0      | 0            |  |
| 事業活動支出 合計          | 1,297  | 1,313  | $\Delta 16$  |  |



| 収支差額の部        |              | (単位億円)       |             |  |
|---------------|--------------|--------------|-------------|--|
| 科 目           | 平成30年度       | 平成29年度       | 差 額         |  |
| 基本金組入前当年度収支差額 | 41           | 63           | $\Delta 22$ |  |
| 基本金組入額合計      | $\Delta 121$ | $\Delta 67$  | $\Delta 54$ |  |
| 当年度収支差額       | $\Delta 80$  | $\Delta 4$   | $\Delta 76$ |  |
| 前年度繰越収支差額     | $\Delta 852$ | $\Delta 861$ | 9           |  |
| 基本金取崩額        | 97           | 13           | 84          |  |
| 翌年度繰越収支差額     | $\Delta 835$ | $\Delta 852$ | 17          |  |

「事業活動収入」  
従来の帰属収入であり当該年度の収入のうち、学生納付金・手数料・寄付金・補助金などの負債とならない収入をいいます。借入金や前受金のような負債性のある資金は除かれます。

「基本金組入額」  
学校法人が教育研究活動を行なっていくためには、校地・校舎・機器備品・図書などの資産を持ち、永続的に維持する必要があります。学校会計では、当該年度に資産の取得に充てた金額を組み入れる仕組みを第1号基本金といいます。  
他に、将来計画のために組み入れる第2号基本金、運用果実を特定の事業目的に使用する第3号基本金などがあります。

「基本金組入前当年度収支差額」  
従来の帰属収支差額であり、事業活動収入から事業活動支出を控除して算出します。



#### 4 事業活動収支の経年比較

| 事業活動収入内訳        |         | ( 単位百万円 ) |         |         |         |  |
|-----------------|---------|-----------|---------|---------|---------|--|
| 科 目             | 平成26年度  | 平成27年度    | 平成28年度  | 平成29年度  | 平成30年度  |  |
| 学生生徒等納付金        | 52,379  | 53,322    | 54,241  | 55,662  | 56,634  |  |
| 手数料             | 3,438   | 3,484     | 3,850   | 3,978   | 3,999   |  |
| 寄付金             | 1,005   | 1,085     | 990     | 911     | 1,052   |  |
| 補助金             | 9,667   | 10,375    | 9,618   | 9,434   | 9,801   |  |
| 資産売却差額          | 478     | 0         | 0       | 1       | 54      |  |
| 付随事業・収益事業収入     | 2,183   | 2,485     | 2,462   | 2,505   | 2,487   |  |
| 医療収入            | 59,867  | 64,062    | 61,839  | 62,101  | 57,429  |  |
| 受取利息・配当金収入      | 1,534   | 108       | 365     | 32      | 24      |  |
| 雑収入 ( 過年度修正含む ) | 2,463   | 2,498     | 2,282   | 2,925   | 2,337   |  |
| 事業活動収入 合計       | 133,014 | 137,419   | 135,647 | 137,549 | 133,817 |  |

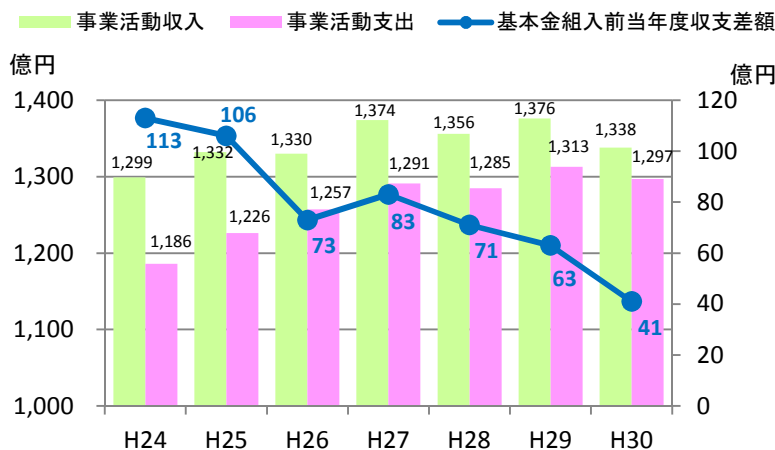
※ 学校法人会計基準の改正に伴い一部の科目が変更となり、平成26年度分は組み替えて記載しています。

| 事業活動支出内訳           |         | ( 単位百万円 ) |         |         |         |  |
|--------------------|---------|-----------|---------|---------|---------|--|
| 科 目                | 平成26年度  | 平成27年度    | 平成28年度  | 平成29年度  | 平成30年度  |  |
| 人件費                | 57,867  | 58,704    | 58,702  | 59,462  | 57,946  |  |
| （うち退職給与引当金繰入額）     | (2,243) | (2,226)   | (2,033) | (2,694) | (2,151) |  |
| 教育研究経費             | 22,650  | 22,883    | 23,448  | 24,706  | 24,031  |  |
| （うち減価償却額）          | (5,480) | (5,419)   | (5,579) | (5,871) | (6,004) |  |
| 医療経費               | 37,414  | 40,036    | 38,282  | 38,742  | 36,050  |  |
| （うち減価償却額）          | (3,153) | (2,537)   | (2,607) | (2,618) | (2,324) |  |
| 管理経費（為替差損、過年度修正含む） | 6,380   | 6,758     | 6,610   | 6,889   | 6,828   |  |
| （うち減価償却額）          | (800)   | (804)     | (746)   | (1,028) | (899)   |  |
| 借入金等利息             | 22      | 19        | 15      | 12      | 9       |  |
| 資産処分差額             | 1,330   | 667       | 1,482   | 1,448   | 4,867   |  |
| 徴収不能額              | 6       | 8         | 7       | 9       | 12      |  |
| 事業活動支出 合計          | 125,669 | 129,075   | 128,546 | 131,268 | 129,743 |  |

※ 学生生徒等納付金収入は平成28年度より国際学部が新設されたこともあり、順調に増加しております。

堺病院の経営委譲に伴い、医療収入・医療経費支出が減少し、資産処分差額が大幅に増加しております。

| 収支差額の部        | ( 単位百万円 ) |          |          |          |          |
|---------------|-----------|----------|----------|----------|----------|
| 科 目           | 平成26年度    | 平成27年度   | 平成28年度   | 平成29年度   | 平成30年度   |
| 基本金組入前当年度収支差額 | 7,345     | 8,344    | 7,101    | 6,281    | 4,074    |
| 基本金組入額合計      | △ 9,067   | △ 19,784 | △ 30,437 | △ 6,715  | △ 12,148 |
| 当年度収支差額       | △ 1,722   | △ 11,440 | △ 23,336 | △ 434    | △ 8,073  |
| 前年度繰越収支差額     | △ 50,296  | △ 51,731 | △ 63,067 | △ 86,103 | △ 85,161 |
| 基本金取崩額        | 287       | 104      | 300      | 1,376    | 9,772    |
| 翌年度繰越収支差額     | △ 51,731  | △ 63,067 | △ 86,103 | △ 85,161 | △ 83,462 |



平成24年度から2年間の収支差額は100億円を超えておりましたが、平成26年度は補助金等の減少や消費税増税の影響により収支差額が大きく減少しました。平成27年度には学生生徒等納付金の増加等により改善しましたが、平成28年度は学生生徒等納付金増加の一方、多額の資産処分の発生により収支差額は再び減少に転じました。平成29年度は東大阪キャンパス整備工事に伴う多額の撤去費及び資産処分の発生により支出が膨らみ、さらに減少しました。平成30年度は学費改定等により学生生徒等納付金は増加しましたが、医学部堺病院の経営委譲に伴い、医療収入・医療経費支出ともに減少しました。収支差額は一過性要因である医学部堺病院での多額の資産処分等により、減少しておりますが、一過性要因を除くと、前年度より改善しております。

## 5 貸借対照表の状況

貸借対照表とは・・・

当該年度末における資産、負債、純資産（基本金、繰越収支差額）の状態を表すものであります。

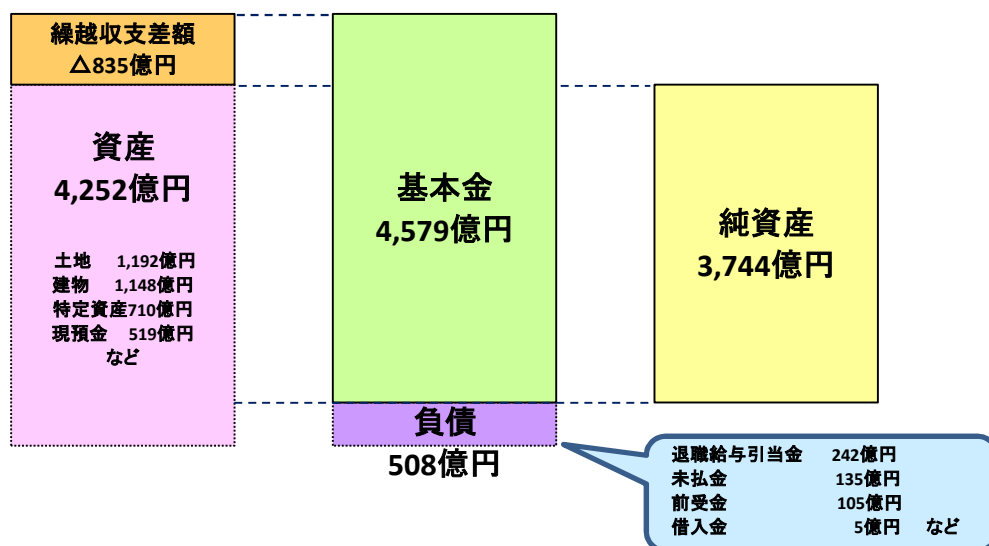
学校法人がその時点で、どのような資産（または負債）がどれだけあるかという財政状況を示します

| 資産の部      |  | (単位億円) |       |      |
|-----------|--|--------|-------|------|
| 科 目       |  | 当年度末   | 前年度末  | 増減   |
| 有形固定資産 ※1 |  | 2,810  | 2,850 | △ 40 |
| 特定資産 ※2   |  | 710    | 660   | 50   |
| その他の固定資産  |  | 86     | 80    | 6    |
| 流動資産      |  | 646    | 639   | 7    |
| 資産の部合計    |  | 4,252  | 4,229 | 23   |

| 負債及び純資産の部   |  | (単位億円) |       |      |
|-------------|--|--------|-------|------|
| 科 目         |  | 当年度末   | 前年度末  | 増減   |
| 固定負債        |  | 245    | 246   | △ 1  |
| 流動負債        |  | 263    | 280   | △ 17 |
| 負債の部合計      |  | 508    | 526   | △ 18 |
| 基本金         |  | 4,579  | 4,555 | 24   |
| 繰越収支差額      |  | △ 835  | △ 852 | 17   |
| 純資産の部合計     |  | 3,744  | 3,703 | 41   |
| 負債及び純資産の部合計 |  | 4,252  | 4,229 | 23   |

※1 医学部堺病院の経営委譲に伴い、多額の資産処分等により減少しております。

※2 第2号基本金引当特定資産50億円の繰入により増加しております。



資産が4,252億円、負債が508億円、基本金が4,579億円、資産から負債を除いた純資産が3,744億円という結果になりました。

医学部堺病院の経営委譲に伴い、多額の資産処分等のため有形固定資産が40億円減少している一方、特定資産が第2号基本金引当特定資産の繰入により、50億円増加しております。その他、現預金が16億円増加した等により、全体として資産は23億円増加しております。

また、負債は前受金が16億円減少していることに加え、未払金が5億円減少していることにより、全体として18億円減少しており、結果として純資産が41億円増加しております。

### 「基本金」

学校法人がその設置する学校を運営してゆくために必要な資産のうち、継続的に保持していかなければならない資産を事業活動収入から組み入れるものです。固定資産取得時に、同価額を基本金組入額として計上することで事業活動支出として支出されることを防ぎ（資産の留保）、基本金として計上することで同価額を将来保持するよう拘束性を持たせています（教育の質の低下を防ぎます）。基本金という資金が存在するわけではなく概念的なものであります。

### 「純資産」

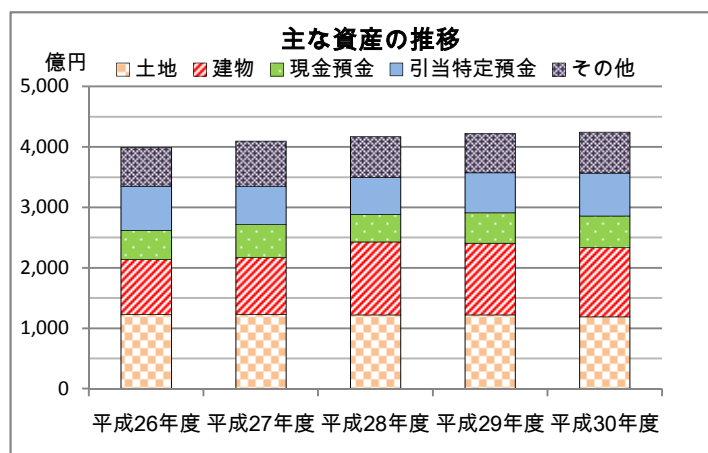
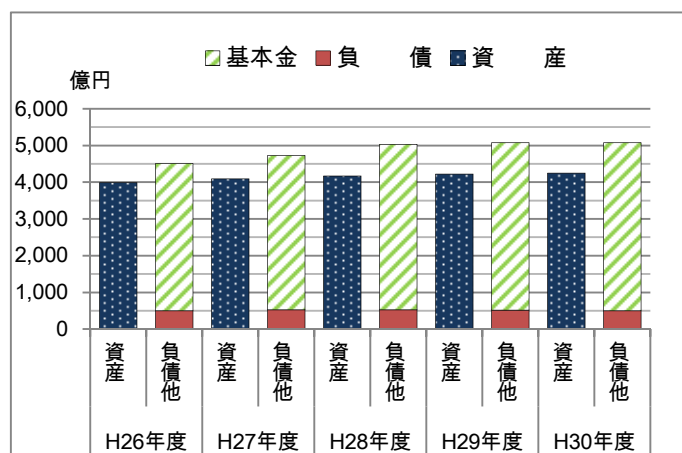
資産から負債を差し引いた金額です。

## 6 貸借対照表の経年比較

(単位百万円)

| 科 目             | 平成26年度   | 平成27年度   | 平成28年度   | 平成29年度   | 平成30年度   |
|-----------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 資 産             | 399,827  | 410,133  | 417,411  | 422,932  | 425,214  |
| 負 債             | 51,205   | 53,167   | 53,344   | 52,584   | 50,791   |
| 基 本 金           | 400,353  | 420,033  | 450,170  | 455,509  | 457,885  |
| 繰 越 収 支 差 額     | △ 51,731 | △ 63,067 | △ 86,103 | △ 85,161 | △ 83,462 |
| 負債及び純資産の部合計     | 399,827  | 410,133  | 417,411  | 422,932  | 425,214  |
| 純 資 産           | 348,622  | 356,966  | 364,067  | 370,348  | 374,423  |
| 減 価 償 却 額 累 計 額 | 153,583  | 158,308  | 161,169  | 162,205  | 163,843  |

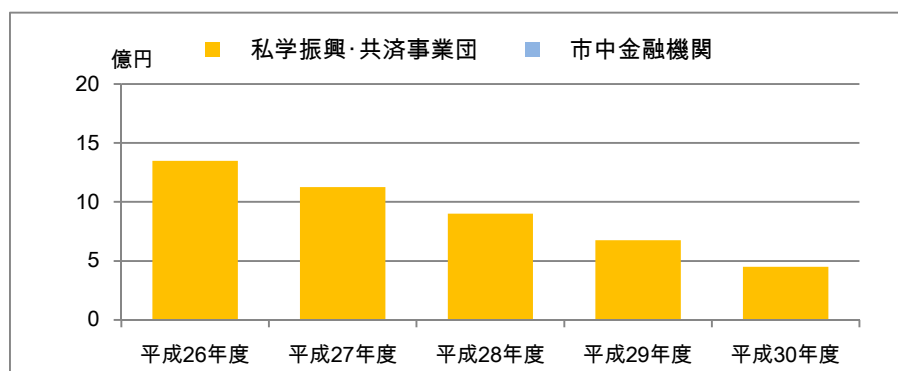
純資産  
= 基本金 + 繰越収支差額  
(= 資産 - 負債)



## 7 借入金残高の経年比較

(単位百万円)

|            | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 市中金融機関     | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |
| 私学振興・共済事業団 | 1,350  | 1,125  | 900    | 675    | 450    |
| 計          | 1,350  | 1,125  | 900    | 675    | 450    |



資産は増加傾向、負債については前受金等が増加しております。

平成22年度に薬学部新棟建設のため、借入金を18億円計上しましたが、低金利（1.5%）の私学振興・共済事業団からの借入れとなっており、利息についても私立学校施設高度化推進事業費補助金の交付を受けております。

## 8 財務比率

※各年度の一過性要因を含む。

財務比率とは・・・

計算書の科目間の比率を算出して、経年変化の追跡や全国平均との比較を行い、財政状況の分析に利用するものです。

評価基準

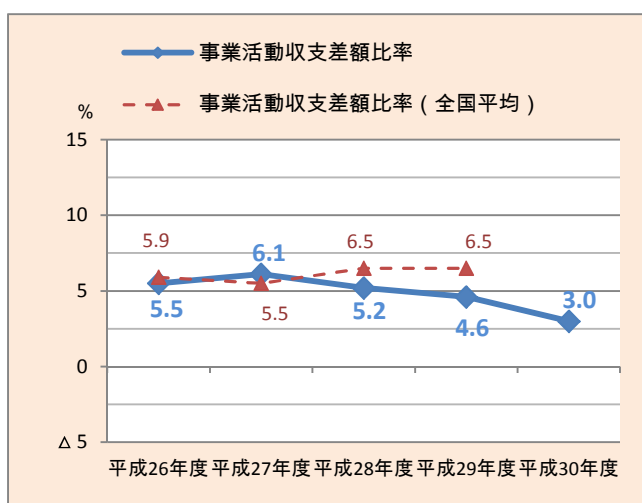
△：高い値が良い  
▼：低い値が良い  
～：どちらともいえない

評価の目安

↑：全国平均よりよい  
↓：全国平均より悪い  
～：どちらともいえない

(単位%)

| 分類       | 項目         | 算式                                           | 全国平均 | 評価基準 | 評価 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------|------------|----------------------------------------------|------|------|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 経営状況はどうか | 事業活動収支差額比率 | $\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$ | 6.5  | △    | ↓  | 5.5    | 6.1    | 5.2    | 4.6    | 3.0    |



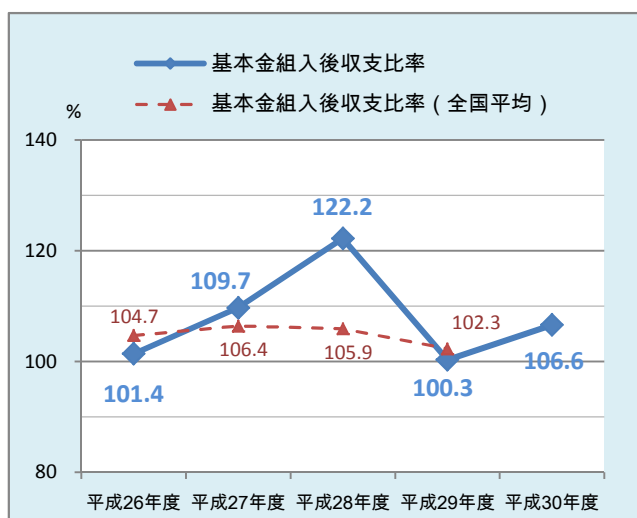
### ▲ 事業活動収支差額比率

この比率がプラスで大きくなるほど自己資金は充実していることとなり、経営に余裕があるものとみなすことができます。10%以上が望ましいとされております。

平成28年度には機器の棚卸及び重複図書の除籍など多額の資産処分が発生、また平成29年度には東大阪キャンパス整備計画事業での処分費用が発生するなど、比率が下降しました。平成30年度には医学部堺病院の経営委譲における土地売却差額が発生するなどにより、さらに比率が低下しております。

(単位%)

| 分類                | 項目         | 算式                                                  | 全国平均  | 評価基準 | 評価 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|-------------------|------------|-----------------------------------------------------|-------|------|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 収入と支出のバランスはとれているか | 基本金組入後収支比率 | $\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組入額}}$ | 102.3 | ～    | ～  | 101.4  | 109.7  | 122.2  | 100.3  | 106.6  |



### ◆ 基本金組入後収支比率

比率が100%を超えると、支出超過ということになります。健全な経営のためには収支が均衡する100%前後であることが望ましいとされております。

平成25年度以降については、毎年度将来計画のための第2号基本金組入(50億円)を行っているため、100%を超える結果となり、重ねて平成28年度には、東大阪キャンパス整備計画事業での資産増加により、比率が上昇しております。

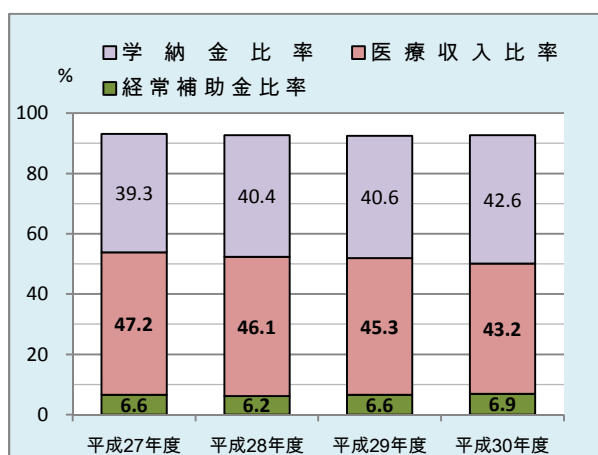
※全国平均(平成29年度決算値)

『今日の私学財政』規模別大学法人平均より  
規模区分=学生数10千人以上



(単位%)

| 分類       | 項目            | 算式                                      | 全国平均 | 評価基準 | 評価 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------|---------------|-----------------------------------------|------|------|----|--------|--------|--------|--------|
| 収入構成はどうか | 学 納 金 比 率     | $\frac{\text{学納金}}{\text{経常収入}}$        | 63.5 | ～    | ～  | 39.3   | 40.4   | 40.6   | 42.6   |
|          | 医 療 収 入 比 率   | $\frac{\text{医療収入}}{\text{経常収入}}$       | -    | ～    | ～  | 47.2   | 46.1   | 45.3   | 43.2   |
|          | 経 常 補 助 金 比 率 | $\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経常収入}}$ | 8.6  | △    | ↓  | 6.6    | 6.2    | 6.6    | 6.9    |



#### 経常収入に対する割合

##### ■ 学納金比率・医療収入比率

学納金比率は、安定的に推移することが望ましいとされています。本学は、医療収入比率が約半分を占めているため、学納金比率は、病院を持たない大学と比べると低い値となります。

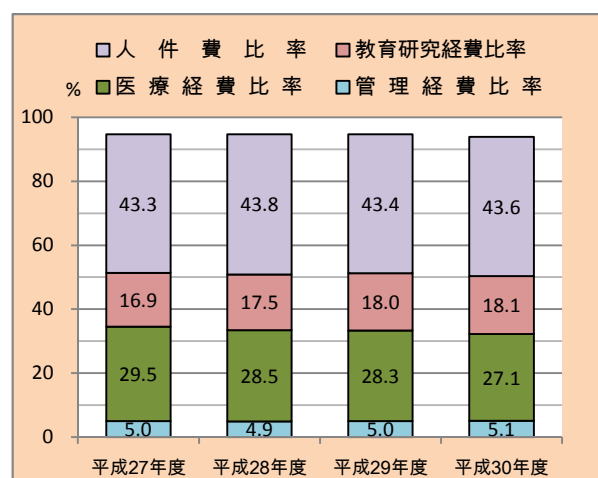
##### ■ 経常補助金比率

補助金は学納金・医療収入につぐ第3の収入源になっており、高い方が望ましいとされています。

この比率には、臨時的収入に区分される補助金は含まれません。

(単位%)

| 分類       | 項目              | 算式                                  | 全国平均 | 評価基準 | 評価 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------|-----------------|-------------------------------------|------|------|----|--------|--------|--------|--------|
| 支出構成は適切か | 人 件 費 比 率       | $\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$    | 49.2 | ▼    | ↑  | 43.3   | 43.8   | 43.4   | 43.6   |
|          | 教 育 研 究 経 費 比 率 | $\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$ | 38.2 | △    | ↓  | 16.9   | 17.5   | 18.0   | 18.1   |
|          | 医 療 経 費 比 率     | $\frac{\text{医療経費}}{\text{経常収入}}$   | -    | ～    | ～  | 29.5   | 28.5   | 28.3   | 27.1   |
|          | 管 理 経 費 比 率     | $\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$   | 6.5  | ▼    | ↑  | 5.0    | 4.9    | 5.0    | 5.1    |



#### 経常収入に対する割合

##### ■ 人件費比率

この比率が高くなると、経常支出全体を大きく膨張させ経常収支の悪化を招きやすくなります。

##### ■ 教育研究経費比率・医療経費比率

教育研究経費比率は、教育研究活動の維持・発展のためには不可欠なものであり、この比率は経常収支の均衡を失しない限りにおいて高くなることが望ましいとされています。

本学は、医療経費比率と分けて算出しているため、病院を持たない大学と比べるとかなり低い値となります。

##### ■ 管理経費比率

学校運営のためには、ある程度の経費の支出は止むをえませんが、比率としては低いほうが望ましいとされています。

経常収入とは、「事業活動収入」(負債とならない収入)から臨時的な収入(施設設備取得に対する補助金及び寄付金、有価証券や不動産等の売却差額等)を除いた通常の事業活動によって得た経常的な収入のことをいいます。

このページの指標は、平成27年度の基準改正で、分母が帰属収入(収入全体)から「経常収入」へ変更となりました。

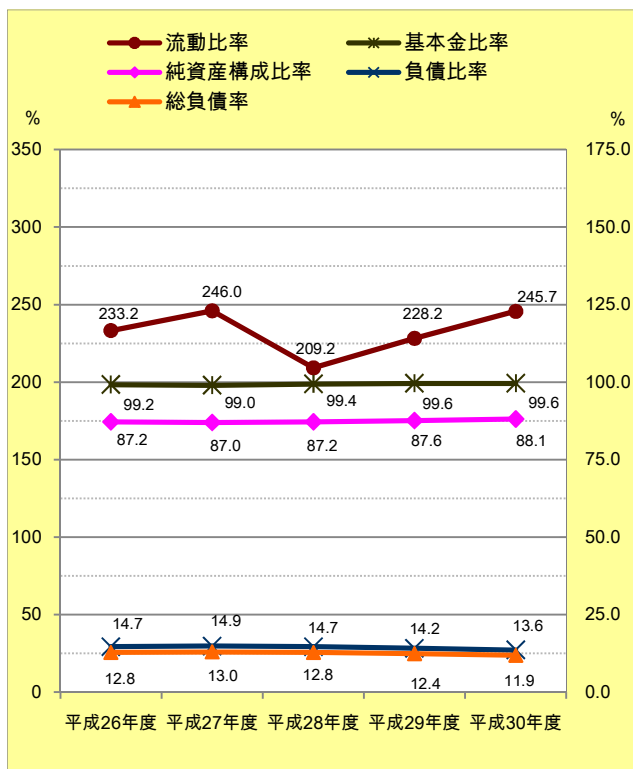
※各年度の一過性要因を含む。

(単位%)

| 分類                | 項目      | 算式                                  | 全国平均  | 評価基準 | 評価 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|-------------------|---------|-------------------------------------|-------|------|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 負債に備える資産が蓄積されているか | 流動比率    | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$   | 204.9 | △    | ↑  | 233.2  | 246.0  | 209.2  | 228.2  | 245.7  |
|                   | 基本金比率   | $\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$ | 96.9  | △    | ↑  | 99.2   | 99.0   | 99.4   | 99.6   | 99.6   |
| 自己資金は充実されているか     | 純資産構成比率 | $\frac{\text{純資産}}{\text{負債+純資産}}$  | 85.7  | △    | ↑  | 87.2   | 87.0   | 87.2   | 87.6   | 88.1   |
|                   | 負債比率    | $\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$     | 16.6  | ▼    | ↑  | 14.7   | 14.9   | 14.7   | 14.2   | 13.6   |
| 負債の割合はどうか         | 総負債率    | $\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$     | 14.3  | ▼    | ↑  | 12.8   | 13.0   | 12.8   | 12.4   | 11.9   |

純資産 = 基本金 + 翌年度繰越収支差額

基本金要組入額 = 基本金 + 基本金未組入額



#### ● 流動比率

短期的な支払能力を判断する重要な指標の一つで、一般に金融機関等では200%以上であれば優良とされております。平成28年度には大規模整備に支払資金を投資したため下降していますが、いずれも200%以上を保っております。

#### \* 基本金比率

事業活動収入からどれだけ基本金に組み入れたかを示す比率となります。未組入額があるということは借入金・未払金で基本金組入対象資産を取得していることを意味しますので、100%に近づく方が望ましいとされております。

#### ◆ 純資産構成比率

学校法人の資金調達源泉を分析する上で最も概括的で重要な指標となります。高いほど資産を自力で調達できていることを示し、財政的に安定しているといえます。

#### × 負債比率

他人資金(総負債)が自己資金(純資産)を上回っていないかどうかをみる指標となり、100%以下で低い方が望ましいとされております。

#### ▲ 総負債率

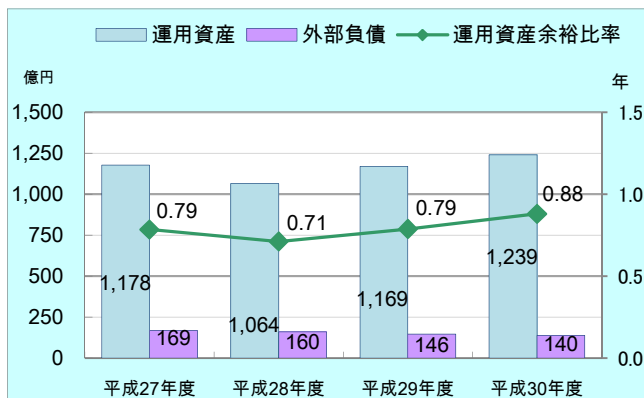
総資産に対する他人資金の比重を評価する極めて重要な関係比率となります。低いほど望ましいとされております。

(単位年)

| 分類                | 項目       | 算式                                                | 全国平均 | 評価基準 | 評価 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|-------------------|----------|---------------------------------------------------|------|------|----|--------|--------|--------|--------|
| 負債に備える資産が蓄積されているか | 運用資産余裕比率 | $\frac{(\text{運用資産} - \text{外部負債})}{\text{経常支出}}$ | 1.6  | △    | ↓  | 0.79   | 0.71   | 0.79   | 0.88   |

運用資産 = 現金預金 + 特定資産 + 有価証券

外部負債 = 借入金 + 学校債 + 未払金 + 手形債務  
(平成30年度より算出方法変更)



#### ◆ 運用資産余裕比率

この比率は、運用資産(特定資産・有価証券・現金預金)から外部負債(外部に返済を迫られる借入金・未払金など)を差し引いた金額が、法人の一年間の支出規模に対してどの程度蓄積されているかを表す指標となります。高いほど支出規模に対して資金蓄積が良好であるといえます。なお、この比率の単位は(年)となります。

大型事業計画を進めるためには資金が必要となります。将来の課題として「運用資産」をいかに獲得していくかが挙げられます。また、今後18歳人口の減少にともない安定した定員の確保など現状を維持していくことも課題となります。

## Ⅳ．資金収支・事業活動収支の区分ごとの推移

### 1 活動区分資金収支計算書

(単位百万円)

|           |        | 平成28年度   | 平成29年度   | 平成30年度   |
|-----------|--------|----------|----------|----------|
| 教育活動      | 収入     | 133,680  | 136,877  | 132,756  |
|           | 支出     | 117,858  | 120,368  | 115,185  |
|           | 調整勘定等  | 1,258    | △ 90     | △ 55     |
|           | 資金収支差額 | 17,080   | 16,419   | 17,516   |
| 施設整備等活動   | 収入     | 9,181    | 367      | 1,752    |
|           | 支出     | 35,718   | 11,229   | 16,044   |
|           | 調整勘定等  | 540      | 190      | △ 1,126  |
|           | 資金収支差額 | △ 25,997 | △ 10,672 | △ 15,418 |
| その他の活動    | 収入     | 3,597    | 3,194    | 3,503    |
|           | 支出     | 3,608    | 3,860    | 3,956    |
|           | 調整勘定等  | △ 58     | 16       | △ 51     |
|           | 資金収支差額 | △ 69     | △ 650    | △ 504    |
| 支払資金の増減額  |        | △ 8,986  | 5,097    | 1,594    |
| 前年度繰越支払資金 |        | 54,261   | 45,275   | 50,372   |
| 翌年度繰越支払資金 |        | 45,275   | 50,372   | 51,966   |

教育・研究・医療等に関する収支

施設・設備に関する収支(修繕は含まない。)

投資活動等による収支

資金収支計算書を3つの活動区分に分けております。

「教育活動」  
「施設整備等活動」  
「その他の活動」

教育活動資金収支差額がプラスであれば、建物改修や教育機器の購入など新たな設備投資ができる状態であることを表しております。

学費収入や医療収入はすべて「教育活動」に計上されているため、留意が必要となります。

### 2 事業活動収支計算書

(単位百万円)

|               |         | 科 目          | 平成28年度  | 平成29年度  | 平成30年度  |
|---------------|---------|--------------|---------|---------|---------|
| 教育活動収支        | 収入      | 学生生徒等納付金     | 54,241  | 55,662  | 56,634  |
|               |         | 手数料          | 3,850   | 3,978   | 3,999   |
|               |         | 寄付金          | 815     | 755     | 817     |
|               |         | 経常費等補助金      | 8,308   | 9,070   | 9,162   |
|               |         | 付随事業収入       | 2,462   | 2,489   | 2,458   |
|               |         | 医療収入         | 61,839  | 62,101  | 57,429  |
|               |         | 雑収入          | 2,217   | 2,884   | 2,315   |
|               |         | 教育活動収入計      | 133,732 | 136,939 | 132,814 |
|               | 支出      | 人件費          | 58,701  | 59,462  | 57,946  |
|               |         | 教育研究経費       | 23,448  | 24,706  | 24,031  |
|               |         | 医療経費         | 38,282  | 38,742  | 36,050  |
|               |         | 管理経費         | 6,597   | 6,874   | 6,791   |
|               |         | 徴収不能額等       | 7       | 9       | 12      |
|               |         | 教育活動支出計      | 127,035 | 129,793 | 124,830 |
| 教育活動収支差額      |         | 6,697        | 7,146   | 7,984   |         |
| 教育活動外収支       | 収入      | 受取利息・配当金     | 365     | 32      | 24      |
|               |         | その他の教育活動外収入※ | 55      | 16      | 29      |
|               |         | 教育活動外収入計     | 420     | 48      | 53      |
|               | 支出      | 借入金等利息       | 16      | 12      | 9       |
|               |         | その他の教育活動外支出※ | 0       | 0       | 0       |
|               |         | 教育活動外支出計     | 16      | 12      | 9       |
| 教育活動外収支差額     |         | 404          | 36      | 44      |         |
| 経常収支差額        |         | 7,101        | 7,182   | 8,028   |         |
| 特別収支          | 収入      | 資産売却差額       | 0       | 1       | 54      |
|               |         | その他の特別収入※    | 1,495   | 561     | 896     |
|               |         | 特別収入計        | 1,495   | 562     | 950     |
|               |         | 資産処分差額       | 1,482   | 1,448   | 4,867   |
|               | 支出      | その他の特別支出※    | 13      | 15      | 37      |
|               |         | 特別支出計        | 1,495   | 1,463   | 4,904   |
| 特別収支差額        |         | 0            | △ 901   | △ 3,954 |         |
| 基本金組入前当年度収支差額 |         | 7,101        | 6,281   | 4,074   |         |
|               |         |              |         |         |         |
| 参考            | 事業活動収入計 |              | 135,647 | 137,549 | 133,817 |
|               | 事業活動支出計 |              | 128,546 | 131,268 | 129,743 |

本業の教育活動の収支状況

経常的な収支状況

財務活動による収支状況

臨時的な収支状況

こちらも3つの区分に分けております。

「教育活動」  
「教育活動外」  
「特別」

「教育活動」と「教育活動外」は合わせて「経常」と区分され、これにより経常的な収支と臨時的な収支、それぞれの収支状況が把握できるようになりました。

ただし、収入と支出の計上区分が必ずしも一致しないため、分析には留意が必要となります。

※その他の内容

教育活動外収支

・ 収益事業収入

・ 為替換算差益・ 差損

特別収支

・ 施設設備関係の寄付、補助金

・ 過年度修正額